第 22 回発行

ぶらんこ

令和２年 10 月 14 日(水)
おおむたこども園
金丸恵美子

自分の力で…！

おおむたこども園の最大のルールは、『自分の力で！！』です。これは、幾度となく、お伝えしてきました。子どもが主体で、自由に遊びを選択できる教育保育は、私たち保育者の中にも何でも自由にして良いのだと誤解を受けることも多々あります。しかし、遊びのコーナーごとにルールが有り、卒園してきた子ども達から伝承されてきた秩序の上に、ひとりひとりの自由な遊びが保障されています。

季節が変わり子どもたちの遊びに大きな変化が見られます。特にぶどう組(3 歳児)さんは、お兄ちゃん、お姉ちゃん達が冒険レンジャーにどんどん上がっていくのを、うらやましそうに見ています。冒険レンジャーへの挑戦は、もも(4 歳児)とばなな(5 歳児)組だけの特権です。もしかしたら、自力で上がれる３歳児さんがいるかもしれません…過去にいましたから…。だから 3 歳児が上がれないように、下方のボルタリングを外しあえて、難しくした経緯があります。３歳児が上がれたとして、手すりはあっても柵の無い高見台の上で、安全に過ごせるのでしょうか？故意でなくても友達を押してしまう、油断をして転倒する危険もあります。そこは、やはり 3 歳児。ある程度の注意力や危険回避能力がつく、4 歳児(もも組)に進級してからトライできる決まりになっているのです。誰でもが簡単に登れる遊具は、とても危険です。

それでも、『何かに挑戦したい３歳児！』…この前、３歳児さんが築山のトンネル入り口から上りたい！そんな場面に遭遇しました。丁度、キッズリーの写真を撮っていた時のこと。M(4 歳児)さんと数名の３歳児さんのやり取りです。

「よく見てみて！こうして、ここを握って、ほら上がれた！」とMさん。代わる代わる真似をして足を曲げて、上に登ろうと挑戦するも全滅。するとMさんが、「ここに、足をかけて、手はここを握るの…」と具体的にポイントを指して教えると、１人の男の子が、半分位の高さまで上がれたのです。
その時、「あっ！自分の力で…だった…」と離れて見ていた私に、申し訳ない表情で言いました。
「そうだよね。教えてもらったら、自分の力じゃないよね…」と別の男の子。そこにいた全員が頷いています。私が、「Mちゃんはどうしたいの、教えてあげたいの？」と聞くと「教えてあげたい…」とニコニコ顔。「Mちゃんは、お尻を持ち上げたり、手を引っ張ったりして加勢しているの？」全員が首を横に否定。「言葉だけで教えるから」とMさん。「だったら、自分の力だけだよね！」そこにいた、３歳児全員がそれは嬉しそうに挑戦していました。

この時のこのやり取りで、３歳児にも『自分の力で！！』がしっかりと根付いていることを実感しました。4.5 歳児のやっていることがお手本であり、あこがれの対象なのです。Mさんにとっても、リーダーとなって年下の友達にレクチャーすることが、更なる自信につながり、頼りにされている感が倍増したことでしょう。

子どもを待つということ…！

いちご２組さんの食事の様子を見に行った時のこと。Ｔ君とM君が、２歳児にはかなり難しい 54Ｐ、45Ｐのパズルを組みながら、食事の順番を待っていました。先に食べた子どもが昼寝に行くと「Ｔ君食べようか？」と担任が迎えに来ました。「終わってから！」とはっきりとした口調で答えるＴ君。「いいよ。終わったら食べに来てね。」と担任。しばらくしてM君の順番も回ってきました。「M君、ごはんどうする？」と担任。「パズルしてから…」。この２人がテーブルにつくと、いっぺんに食事が終わるはずです。

しかし、担任は「パズルが終わってから、食べようね。待っているからね」とそれはそれは優しく、自然に声を掛けたのです。「続きをおやつのときにしたら…」と余計なことを言いそうになる自分を抑えながら、何でもかんでも十把一絡げ、合理的な保育をしてきた自分が恥ずかしくなりました。

子どもを待つということは、子どもの意思を尊重し、寄り添い、受け入れることだと思います。いまだに「子どもの意思を受け入れるとワガママになる」と平気で発言する保育関係者がいるのも事実です。大人の意向に合わせようとしない子どもは、ワガママでしょうか？私達大人が、子どもに合わせようとしない、ワガママな大人なのではないでしょうか？

0 歳から 6 歳までに、自分の思いが受け入れられる経験を多くした子どもは、自己肯定感が高く、物事の折り合いをつけたり、相手の気持ちを汲んでそれに合わせるなどの自分自身をコントロールできる力が備わりやすいと言われています。

『いっぺんに食事が終わる』ことより、２人の思いを大事にした担任。一斉に子どもを動かそうとする従来の保育なら受け入れがたい行為です。しかし、こんなにも子ども達に寄り添える保育士がいる！おおむたこども園の自慢がまた、一つ増えました…。